

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■活動報告

みんなであつなごうリレーフェスティバル2022報告

日本陸連の掲げる中長期計画（JAAFビジョン）の中では、アスレティックファミリーを2040年までに300万人とする目標を掲げています。そのために、現在陸上とつながりのない人たちとのタッチポイントをどのように作るべきか。そこで思いついたものが、誰もが知る、誰もが盛り上がる「リレー」です。この「リレー」を軸に企画ができたらと思ひ、盛りだくさんリレーのイベントの実施が決まりました。

『#LETSTHINK_ (レッツシンク)』報告

#LETSTHINK_の本連盟の取組みとして、10月1日（土）・2日（日）に国立競技場で開催した「みんなであつなごうリレーフェスティバル2022」の中で、「3R（スリーアール）のバトンプロジェクト」を実施しました。

■大会観戦ガイド

福岡国際マラソン2022

令和4年度全国中学校体育大会 第30回全国中学校駅伝大会

男子第73回全国高等学校駅伝競走大会 女子第34回全国高等学校駅伝競走大会

■事務局からのお知らせ

【ブダペスト世界選手権への道】参加資格有資格者一覧

ロードレース開催についてのガイダンス

【JMCシリーズ】第2期G3に3大会の加盟が決定：日本選手権者、

ブダペスト2023世界選手権日本代表、パリ五輪MGC出場権は誰の手に!?

ブダペスト世界選手権など2023年の国際競技会の日本代表選考要項を承認

——第78回理事会

information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2023年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・シューズ規則／広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・【ブダペスト世界選手権】

エントリースタンドアード

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24_100216.pdf



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



みんなでつなごうリレーフェスティバル2022

(リレフェス)

1. 期日：2022年10月1日（土）・2日（日）

2. 場所：国立競技場

3. 実績：

～実施種目 全17種目～

【公認の部】

U16 4×100mリレー（都道府県代表）

一般 4×100mリレー／パラ4×100mユニバーサルリレー

【非公認の部】

200歳以上リレー／職場の同僚リレー

競技団体対抗リレー／スポンサー対抗リレー

部活動対抗リレー／Relay For ALL（マイル日本代表PD）

誰でもチャレンジリレー／小学生リレー

ウォーキングリレー（競歩日本代表PD）／家族対抗リレー

4×TWOLAPSリレー（TWOLAPS PD）／仮装リレー

※PD＝プロデュース種目

～参加人数～

▶する人（同時開催の日本選手権リレーを含む）

1日目2,500人／2日目2,000人

▶みる人（観客、チームスタッフなど）

1日目3,000人／2日目2,000人

▶支える人（ボランティア、東京陸協など）

1日目550人／2日目650人

4. 経緯 ～リレフェス誕生秘話～

日本陸連の掲げる中長期計画（JAAFビジョン）の中では、アスレティックファミリーを2040年までに300万人とする目標を掲げています。そのために、現在陸上とつながりのない人たちのタッチポイントをどのように作るべきか。普段我々が開催している競技会の枠から一歩はみ出したアクションを起こさなければと考えてきました。そこで案として挙がったものが、誰もが知る、誰もが盛り上がる「リレー」です。日本では、子どもの頃から運動会や体育祭などで、文化として親しまれてきました。この「リレー」を軸に企画ができたらと、リレー種目が盛りだくさんのイベントの実施が決まりました。場所は、東京五輪の舞台にもなった「国立競技場」。これは、東京五輪のレガシーを未来へという思いも込められています。

5. 準備 ～皆で創るリレフェスの世界観～

皆で創ることをねらいの一つとしたリレフェスは、イベントの名称や実施種目を、アンケート回答を参考に決定しました。このイベントならではの世界観を意識し、イベント名称にはあえて「フェスティバル」の言葉を採用しました。種目には、陸連登録していない人も参加できるように

非公認種目を多く設定し、未来のアスリートや陸上ファンが楽しめるようにと現役のトップアスリートがプロデュースする種目も設定しました。

キービジュアルには、これまでにない柔らかく温かみのあるイラストを取り入れ、気軽に参加したくなるような雰囲気と、良い意味での緩さを求めたところもポイントです。

今回最も大切にしたキーワードは、「笑顔」です。2日間を笑顔でいっぱいにするために、様々なアイデアを出し合いました。普段、陸上に慣れ親しんでいない方も多くいること、年齢層の幅もあることを考慮しながら、MCや音楽、インタビューなどの運営面を工夫しました。また、競技場内で楽しめる企画（スタンプラリー、フォトスポット、過去の陸マガ・月陸閲覧コーナー、選手サイン会、ゆるキャラリレー、陸上体験コーナーなど）も実施し、国立競技場全体が笑顔で包まれるように検討を重ねました。

6. 運営 ～舞台を支えるボランティアチーム～

初開催となるリレフェスを支えたのは延べ200名を超えるボランティアチーム。全27部署で、受付、招集、カメラマン、アナウンスなど幅広く活躍しました。国内のT&F（スタジアムの大会）では審判・補助員による運営形態が主流で、恐らくこれだけのボランティアが活躍したイベントは過去にありません。東京五輪で活躍したメンバーなどの心強いメンバーが集まり、連携の取れた明るく丁寧なコミュニケーションは、ボランティアの輪を越えてイベント全体の円滑な運営を助けてくれました。

7. 今後 ～未来へつなぐバトン～

アスリートの迫力を間近に感じたり、いつもと違った緊張感を味わったり、日常とはひと味違う感動体験に笑顔溢れた参加者の皆さん。絆がより一層強くなった輪。長い年月を経て再びつながった輪。新たに生まれた輪。それぞれの輪が、輝いた2日間。する人・みる人・支える人（アスレティックファミリー）皆が1年に一度集まる場として、毎年その輪が大きくなり強く結びついていくようなイベントをこれからも目指したいと思います。バトンをつないでくれた皆さま、本当にありがとうございました。

リレフェス特設サイト

笑顔溢れる振り返り動画や参加者の皆様のコメント、フォトギャラリーなどを公開しています。是非、ご覧下さい！



<https://www.jaaf.or.jp/relayfes/>

～ここでは、未来へつながる笑顔が生まれる～

#LETSTHINK_

「#LETSTHINK_」について

近年、SDGsの達成に向けた取組みが、社会的に活発に行われるようになってきました。SDGsとは、私たちが直面している社会・経済・環境などの課題を解決し、みんながずっと暮らし続けていける社会・未来をつくるために設定された世界共通の目標です。私たち日本陸上競技連盟も、このSDGsの達成のために「陸上」を通してどのように貢献できるか、考え取り組んでいかなければいけないと考えています。

また、「陸上」を通して社会とどのように関わることができるかを考えることは、社会貢献につながるだけでなく、自分自身が陸上に取り組む意義への気づきや、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上につながるのではないかと考えています。全国のアスレチックファミリーの皆さんにも一緒に考えていただくことで、競技としての陸上に取り組むだけでなく、楽しく・豊かで・充実したライフステージを送るそれぞれのウェルネス陸上の実現にもつなげられたらと思っています。

とにもかくにも、まずは陸上を通して社会や地域に貢献できることを気軽に前向きに考えてみよう！ということで、本連盟は2022年7月1日より、身近なところから陸上を通してSDGsなどの社会的な課題についてみんなで考え取り組んでいくプロジェクトをスタートし、これを「#LETSTHINK_（レッツシンク）」と名付けました。陸上界で考えたこと、取り組んだことを集結させて、みんなでそれをシェアしたり取り入れ合ったりしながら、それぞれの“ライフステージ”と“未来の社会”をよりよいものにしていきましょう。

「ロゴに込めた想い

#LETSTHINK_ のロゴでは、陸上を象徴する走・跳・投と社会とつながる輪を描き、そこから笑顔が生まれていくイメージを表現しました。

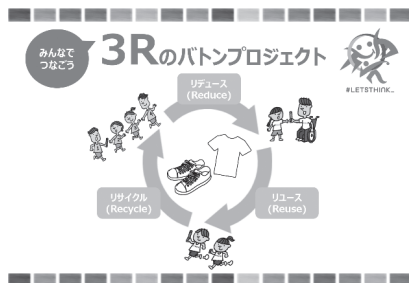


#LETSTHINK_

陸上を通して、社会とつながる輪を広げ、笑顔あふれる社会・未来をつくってきたいという想いを込めています。

「3Rのバトンプロジェクトを実施

#LETSTHINK_ の本連盟の取組みとして、10月1日（土）・2日（日）に国立競技場で開催した「みんなでつなごうリレーフェスティバル2022」（以下、リレーフェス）の中で、「3R（スリーアール）のバトンプロジェクト」を実施しました。



3Rとは、【Reduce（リデュース）ごみを削減する】・【Reuse（リユース）再使用する】・【Recycle（リサイクル）資源化】を意味し、本企画では、リレーフェスに参加いただいた方やご観戦にいらした皆さまから、まだ使えるけど自分では着用しなくなったスポーツウェアやスニーカーを回収し、3つのルートで次の未来につなげることで、衣類ロスと廃棄物の焼却に伴うCO₂排出量の削減に取り組みました。

〈実施日時〉
2022年10月1日（土）・2日（日）
9：30～17：30（リレーフェス内）

〈実施場所〉
国立競技場 1階コンコース（Dゲート付近）

〈回収するもの〉
スポーツウェア（上下）、運動靴、スパイク
※スポーツウェア（上下）は、ヨレ・ほつれ・シミなどがあるものでも回収。

〈協力〉
アシックスジャパン株式会社

「3つのルートで次の未来へ



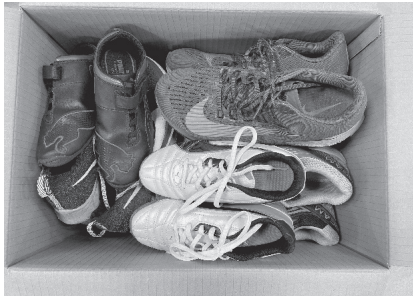
今回のリレーフェスに設置した3Rのバトンプロジェクトブースでは、処分されてしまう可能性のあったスポーツウェア88枚とシューズ20足を回収。回収することで、まずはごみの削減（＝Reduce/リデュース）に取り組みました。そしてここからが次のステップ。回収したウェアとシューズは、以下の3つのルートで次の未来につながりました。

- ①リレーフェスの参加者やご観戦にいらした方へ（＝Reuse/リユース）
まだ使えるなら引き継いで大切に使用したい！そんな素敵な思いを持ったリレーフェス参加者やご観戦にいらした方のもとへ、回収したウェアとシューズのうち、スポーツウェア76枚、シューズ10足が、旅立ちました。



②物資を必要としている世界の人へ (=Reuse/ リユース)

回収したシューズのうち、10足をNPO法人ワールドギフトへ送りました。これらのシューズは、物資を必要としている世界中の施設・団体に届けられます。



③GREEN BAG PROJECTへ (=Recycle/ リサイクル)

回収したウェアのうち、12枚をアシックスジャパン(株)に送りました。これらのウェアは、アシックスジャパン(株)が作製している100%リサイクル素材のエコバッグ (GREEN BAG) (※)の一部に生まれ変わります。

※GREEN BAG (<https://www.asics.com/jp/ja-jp/mk/greenbag>) は、アシックス直営店とアシックスウォーキングの全店 (一部アウトレット店舗除く) で販売されており、その収益金の一部は、子どもの健全な育成を目的とした「ONE FUTURE PROJECT」の活動に活用されています。

今回初めて実施した3Rのバトンプロジェクト。実施前、特に①のリレフェスに参加いただいた方やご観戦にいらした方へつないでいくルートについて、ウェアやシューズのバトンは本当につながるのだろうか…と不安な気持ちもありました。しかし、当日を迎えてみると、たくさんの方にブースに足をお運びいただき、ウェアやシューズのバトンを引き継いでくださる方がいて、ごみを削減することができたことはもちろん、アスレティックファミリー同士がつながっていくようで、とてもうれしく感じました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

■スポンサー企業とのコラボ展開

リレフェスでは、本連盟オフィシャルスポンサーのデンカ(株)も、#LETSTHINK_の取組みを行いました。

競技会やイベントを楽しむためにはおいしいグルメが欠かせませんが、飲食売店で使われているフード容器はプラスチック製のものが多く、どうしても再利用できないごみが大量に出てしまうことが気になるところでした。



食品包装材料の事業を展開されているデンカ(株)に相談したところ、プラスチックの使用量を約40%削減 (デンカポリマーの従来品比) できるフード容器を、子会社のデンカポリマー(株)が製造しているとのことで、今回のリレフェスの飲食売店では、取り入れさせていただきました。

また、このフード容器の導入をきっかけに、リレフェスにご来場いただいた方にSDGsについて考えてもらえたらということで、デンカ(株)と本連盟で、SDGsクイズコーナーを出展しました。

この会場では、プラ使用量を大幅削減した容器! を使用して環境負荷を低減しています!!

環境に配慮された リデュース 新素材

OP-100 を使用!!

多くても 環境負荷を削減! 環境に配慮した 素材

※A1規格に適合。プラスチック資源循環促進法に準拠。食品衛生法にも適合。環境負荷低減型プラスチック容器 (OP-100) の開発に成功!!

プラ使用量 ここまで 削減 できました!!

2018年 OP-100 2019年 OP-100 2020年 OP-100 2021年 OP-100 2022年 OP-100

40%削減の環境に配慮!!

Denka デンカポリマー株式会社



当日は、子供から大人まで、たくさんの方がSDGsクイズに挑戦してくださいました。SDGsクイズがきっかけとなって、「環境のために、自分には何ができるだろう?」「どんな未来をつくりたい?」といったことへの意識が少しでも芽生えたならうれしいです。



(SDGsクイズの答え合わせ中)

■#LETSTHINK_の輪を広げよう

さて、今回の記事では、リレフェスで本連盟が取り組んだ、SDGsの達成に向けた取組みをご報告しました。本連盟では、今後も「陸上」を通して何ができるかを考えながら、SDGsの達成や社会に貢献できる活動に取り組んでまいります。

また、今年の7月から10月にかけて、アスレティックファミリーの皆さんからも、それぞれで取り組まれている#LETSTHINK_の取組みを募集させていただきましたので、そちらはまた改めてご紹介できたらと思っています。

この記事を読んでいただいた皆さんも、「陸上」を通して社会とどのように関わることができるか、何か考えたり取り組んだりしたことがありましたら、ハッシュタグ「#LETSTHINK_」を付けたSNS投稿で、ぜひ教えてください! (オリジナルのハッシュタグにするために最後にアンダーバーを付けていますのでお忘れなく…!)

大会観戦ガイド

福岡国際マラソン2022

- ▼期日：2022年12月4日（日）12時10分スタート
- ▼コース：福岡朝日国際マラソンコース（平和台陸上競技場～福岡市西南部周回～香椎折り返し）42.195km
マラソンの他に、15km、20km、ハーフ、25km、30kmの記録が公認される。ただし、完走した競技者が対象
- ▼アクセス（平和台陸上競技場）：地下鉄「赤坂」「大塚公園」下車 徒歩8分 西鉄バス「福岡城・鴻臚館前」「福岡市美術館東口」「大手門・平和 台陸上競技場入口」下車 徒歩5分～8分「赤坂3丁目」下車 徒歩10分
都市高速「天神北ランプ」「西公園ランプ」より約3キロ（園内に駐車場あり）
- ▼問合せ先：福岡国際マラソン実行委員会事務局
〒810-0053 福岡市中央区鳥飼3-3-12
TEL：092-733-8911（平日10：00～12：00、13：00～16：00）
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1720/>



写真：アフロスポーツ

令和4年度全国中学校体育大会 第30回全国中学校駅伝大会

- ▼期日：12月17日（土）・18日（日）
 - (1) 開始式 令和4年12月17日（土）15時00分
 - (2) 競技 令和4年12月18日（日）
 - 女子の部スタート 11時10分
 - 男子の部スタート 12時15分
 - (3) 表彰式 令和4年12月18日（日）14時30分
- ▼会場：
 - (1) 開始式 滋賀県希望が丘文化公園
スポーツ会館体育室

- (2) 競技 同上 スポーツゾーン芝生ランド
- (3) 表彰式 同上 スポーツ会館体育室
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 978 番地

- ▼アクセス：〈電車・バスでお越しの方〉JR琵琶湖線 野洲駅南口より 近江鉄道バス・希望が丘西ゲート經由「花緑公園行」または「村田製作所行」で約10分
〈お車でお越しの方〉名神高速道路栗東インターチェンジより国道8号を經由して約20分
- ▼問合せ先：
大会開催前：滋賀県教育委員会保健体育課 分室内 実行委員会事務局
TEL：077-535-9080 FAX：077-535-9081
大会期間中（直前の12月13日（火）～16日（金）含む）：希望が丘文化公園内 実行委員会大会本部
TEL：080-8303-7874 FAX：077-535-9081
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1680/>

男子第73回 全国高等学校駅伝競走大会 女子第34回 全国高等学校駅伝競走大会

- ▼期日：令和4年12月25日（日）（雨天決行）
女子：10時20分出発 男子：12時30分出発
- ▼コース：たけびしスタジアム京都をスタート、フィニッシュとする
男子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（男子全国高校駅伝コース）
女子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（女子全国高校駅伝コース）
- ▼アクセス：京都市営バス「西京極運動公園前」下車 徒歩5分、阪急電車「西京極」下車 徒歩10分
- ▼問合せ先：
【競技に関する問合せ】
京都市立西京高等学校内
全国高等学校駅伝競走大会事務局
〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町1
TEL 090-3844-3398（事務局次長） FAX 075-822-5702
【その他の問合せ】
毎日新聞大阪本社事業部内
全国高等学校駅伝競走大会事務局
〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5
TEL 06-6346-8249 FAX 06-6346-8372
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1681/>

事務局からのお知らせ

◆◆【ブダペスト世界選手権への道】参加資格有資格者一覧◆◆

2023年8月19日（土）～27日（日）にブダペスト（ハンガリー）で開催される世界陸上競技選手権大会の参加資格有資格者をお知らせします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17055/>



◆◆ロードレース開催についてのガイダンス◆◆

ロードレース開催についてのガイダンス資料を掲載しています。

本ガイダンスは現段階で得られている知見などに基づき作成しています。今後、関連省庁、関連協会、各地域などの状況を踏まえ更新していきます。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15766/>



◆◆【JMCシリーズ】第2期G3に3大会の加盟が決定：

日本選手権者、ブダペスト2023世界選手権日本代表、パリ五輪MGC出場権は誰の手に!?!◆◆

「ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ」について、日本陸連ロードランニングコミッションによる審査の上、「第53回防府読売マラソン大会（女子）」・「第61回延岡西日本マラソン大会（男子）」・「とくしまマラソン2023（男女）」の3大会がJMCシリーズ第2期グレード3に加盟することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17107/>



▼JMCシリーズ特設サイト

<https://www.jaaf.or.jp/jmc-series/>



◆◆ブダペスト世界選手権など2023年の国際競技会の日本代表選考要項を承認——第78回理事会◆◆

日本陸上競技連盟は2022年9月27日、第78回理事会をオンラインにより開催しました。ブダペスト2023世界選手権のトラック&フィールド種目をはじめ、2023年に開催されるさまざまな国際競技会の日本代表選手選考要項が承認・発表されました。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17098/>



▼2023年度代表選手派遣大会選考要項

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

尾縣 貢（陸連会長）
黄倉 寿雄（陸連副会長）
瀬古 利彦（陸連副会長）
有森 裕子（陸連副会長）
風間 明（陸連専務理事）
山崎 一彦（陸連強化委員長）
鈴木 英穂（陸連事務局長）
石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

石井 朗生
◇時報編集担当
日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL：050-1746-8410
FAX：050-3588-1869